

葺替金具 屋根改修用部材

サカタ製作所



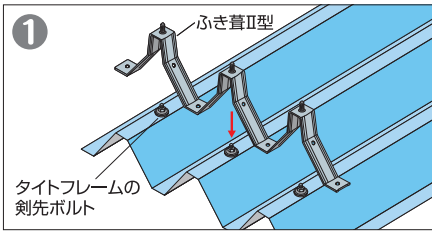
既存の屋根をそのままに葺替えが可能！



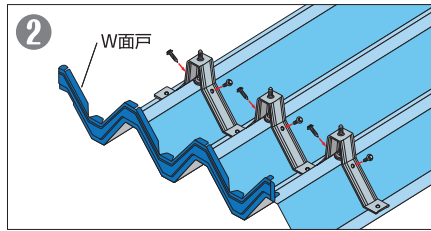
- ① 既存の屋根を剥がすことなく施工できるので、建物は普段通り利用できます。
- ② 屋根を剥がさない分コストダウンが可能です。また、工期も短くて済みます。
- ③ 上下の折板の間に空気層ができ、簡易断熱効果もあります。
- ④ クイック剣先のラスパートが標準仕様となり、施工性・防錆性がアップしました。
- ⑤ 既存折板との隙間をうめるW面戸もあります。

葺替金具は、既存の屋根に直接取付け二重にすることで、施工のコストダウン・工期短縮・簡易断熱効果を可能にします。

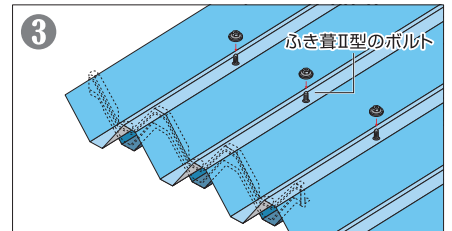
取付方法



下折板のタイトフレームの上にふき葺Ⅱ型を仮置きします。タイトフレームの位置は、剣先ボルトが目印になります。

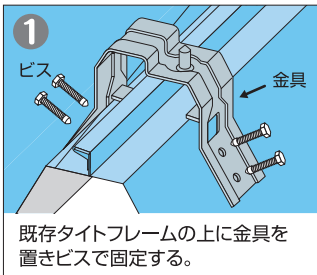


テックスビス (推奨サイズ6×25~35) を使用し、ふき葺Ⅱ型と既存屋根を固定させます。次に、W面戸を設置し、タッピングビスもしくはブラインドリベット等で屋根に固定させます。

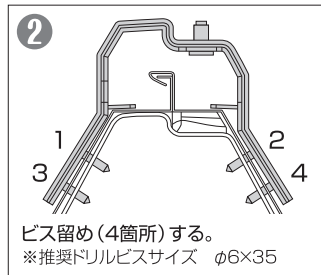


上折板をのせ、ハイセットを締めて施工完了です。

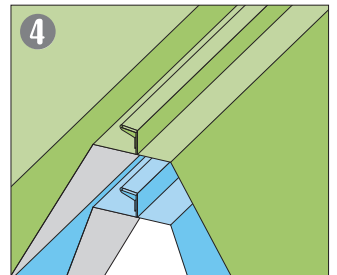
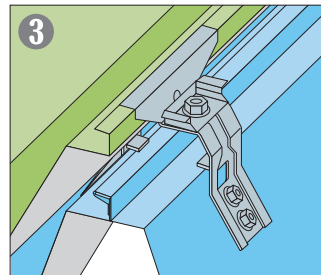
ふき葺ビスタイプ



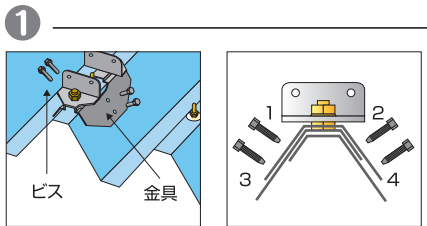
既存タイトフレームの上に金具を置きビスで固定する。



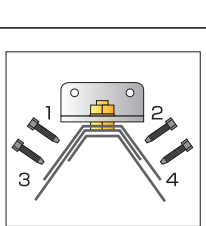
ビス留め(4箇所)する。
※推奨ドリルビスサイズ φ6×35



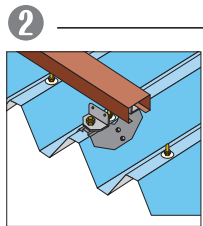
ふき葺C型鋼用



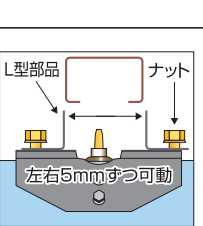
金具を既設折板(タイトフレーム)にビス留め(4箇所)する。
※推奨ドリルビスサイズ φ6×25



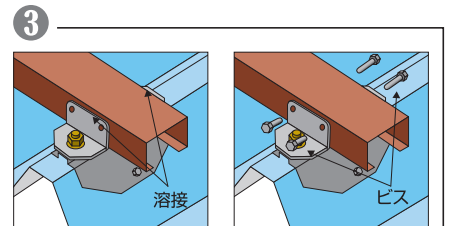
折板重なり部は1から4の順番でビス留めする。
※金具の座りが安定する。



金具をC型鋼に載せる。
※C型鋼サイズ t.2.3×75×45×15



L型部品がC型鋼に沿うように、ナットをゆるめL型部品を調節する。
※調節後、ナットは必ず締めること。



金具とC型鋼の接続は溶接(2箇所)。またはビス留め(4箇所)する。
※推奨ドリルビスサイズ φ6×25

推奨取り付けピッチ(桁行方向)

既設(下) \ 新設(上)	ハゼⅠ型	ハゼⅡ型	ハゼⅢ型	166ハゼ	90ハゼ
88TP	200mm	400mm	800mm	200mm	400mm
150TP	250mm	500mm	1000mm	250mm	500mm
S-60TP	300mm	600mm	1200mm	300mm	300mm
550TP	550mm	825mm	1100mm	275mm	550mm